

野中 詠子

人とのつながりが 広がる職場



きっかけは…

総務省を目指したきっかけは、多くの人との出会いのある仕事をしたいという気持ちからです。総務省では、所管する事業が多く、国内外を問わず、多くの人と出会う機会があります。環境の違う人と仕事することで今までにない観点から物事を考えることができ大変勉強になります。入省して1年経ちましたが、本当に多くの人と出会い充実した日々を過ごすことができていると思います。

グリーンICTの推進

私が所属する情報流通振興課では、情報通信技術（ICT）の活用をテーマに電子書籍、電子政府及びグリーンICTの推進などさまざまな政策に取り組んでいます。中でもグリーン ICT 推進事業は、地球温暖化問題に対して、ICT を活用することで温室効果ガスの排出を削減する取り組みです。ICT 機器やシステムを利用すると、ICT 機器自体の CO2 排出というデメリットがある一方で、ICT 活用による人の移動の減少、エネルギー利用効率の改善等多くのメリットもあるため、この特徴をうまく活かすことで、CO2 排出を大幅に削減することができるようになります。このような考えのもと、企業や家庭の電力の「見える化」や、さらには自動制御でCO2をどのくらい削減できるかという実証実験にも取り組んでいます。また、このような実験を通して得たベストプラクティスや環境影響評価手法を情報通信関連の国際機関である国際電気通信連合（ITU）へ提案し、国際標準化する等、国際貢献も行っています。

この実証実験や ITU への提案は、技術的な面が強く、法学部出身の自分には難しいと感じるときもあります。また、知識も経験も圧倒的に違う事業者の方々と調整していくのはなかなか大変な面もあります。しかし、関係する方々が情熱をもって取り組まれている姿を見ると、私ももっと頑張らなければいけないという気持ちになります。

総務省の魅力

情報通信行政に携って思ったのは、職場でPCに向かって考えていてもなかなかいいアイデアは浮かんでこないということ。なので、研修や現地視察等、積極的にいろんなことに挑戦し、様々な情報を吸収できるよう心がけています。自分の勉強不足を反省することもあります。そんな自分にも根気強く付き合ってくれ、拙い意見も聞いてくれる上司や先輩がたくさんいます。総務省なら、きっと自分のやりたいと思える仕事を見つけられると思います。

PROFILE

平成23年4月 総務省採用
情報流通行政局
情報通信作品振興課

平成23年7月 現職

とある一週間

月曜日

次の日の有識者会議に向けて事業者の方と会議の進行や資料の最終チェックをします。

火曜日

有識者会議当日。構成員の方々の意見は自分に新しい気付きを与えてくれます。参加者の指摘や意見をメモ取り。

水曜日

大学の先生に次年度事業の執行に関して相談。わからない言葉が出てくることも多々あります。打ち合わせのあとはメモ作りをしながら調べます。

木曜日

省外の会議の傍聴。自分の担当している事業に関係する部分もあり勉強になります。

金曜日

1週間の整理をしつつ来週にやらなければいけないことを洗い出します。夜は課のみんなで飲みに行く日もあります。

土・日曜日

同僚(上司)の所属する総務省野球部の試合の観戦。晴れた日以外で過ごすのがフレッシュになります。



チームメイトと